

2014年3月期第2四半期 決算説明資料

2013年12月3日

株式会社やまびこ

1. 2014年3月期 第2四半期	
決算概要	2
2. 2014年3月期	
業績見通し	
中期経営計画進捗	9
3. 次期中期経営計画	
策定の考え方	20

1. 2014年3月期 第2四半期 決算概要

総括：国内一般産業用機械の減少および北米を除く海外で小型屋外作業機械が販売数量を落としたものの、円高是正の影響により前年同期比で大幅な増収増益。

《 市場動向 》

市場	セグメント（分野）	動向
国内	小型屋外作業機械 農業用管理機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 補正予算の増額により大型機械（トラクター・コンバイン・田植機）を中心に需要は増加 ● 刈払機などの小型機械も堅調 ● 農業機械出荷実績は前年同期比117.9%（日本農業機械工業会 統計）
	一般産業用機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設機械出荷30カ月連続の増加（日本建設機械工業会 統計） ● 震災復興や第4次排気ガス規制に加えて、社会インフラ老朽化対策などで好調
海外	小型屋外作業機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米市場：景気が回復基調で推移。春先の天候不順が回復したことも復調要因 ● 中南米市場：ベネズエラ・アルゼンチン・コロンビアなど政治経済の悪影響が長期化 ● 欧州市場：景気低迷が継続
	農業用管理機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米市場：穀物価格高を背景に堅調

2014年3月期 第2四半期 経営成績



(百万円)

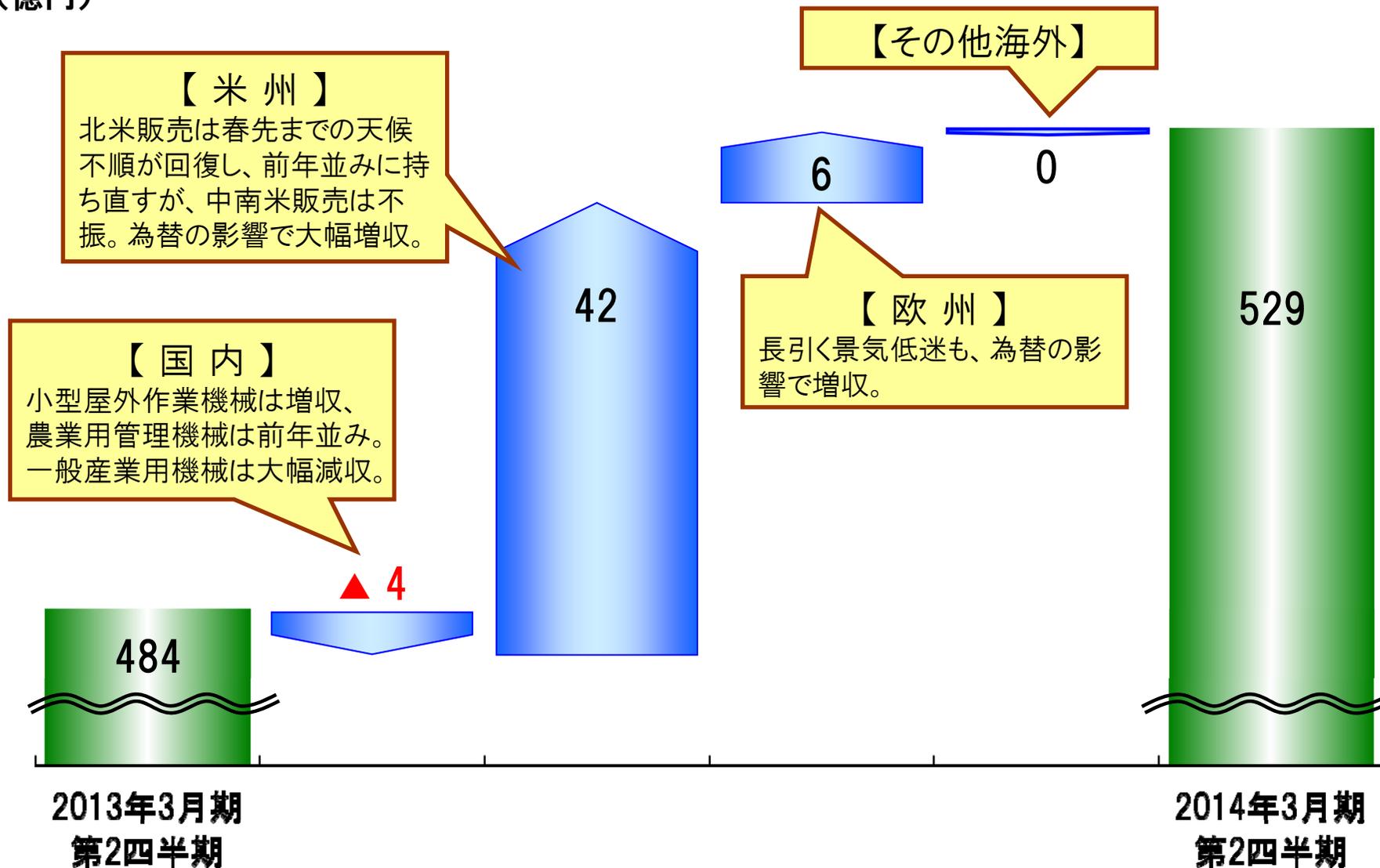
	13/3期 2Q	14/3期 2Q	前年同期比	
			差 額	増減率
売上高	48,454	52,925	4,471	+ 9.2 %
国内	21,792	21,337	▲ 455	▲ 2.1 %
米州	22,071	26,306	4,235	+ 19.2 %
その他	4,590	5,282	691	+ 15.1 %
営業利益	1,716	3,010	1,293	+ 75.4 %
経常利益	1,335	3,433	2,098	+ 157.1 %
当期純利益	585	2,528	1,943	+ 331.9 %

為替レート

1ドル	当社レート	80 円	98 円	18 円	+ 22.5 %
	米国子会社 換算レート	80 円	96 円	16 円	+ 20.0 %
1ユーロ		102 円	128 円	26 円	+ 25.5 %

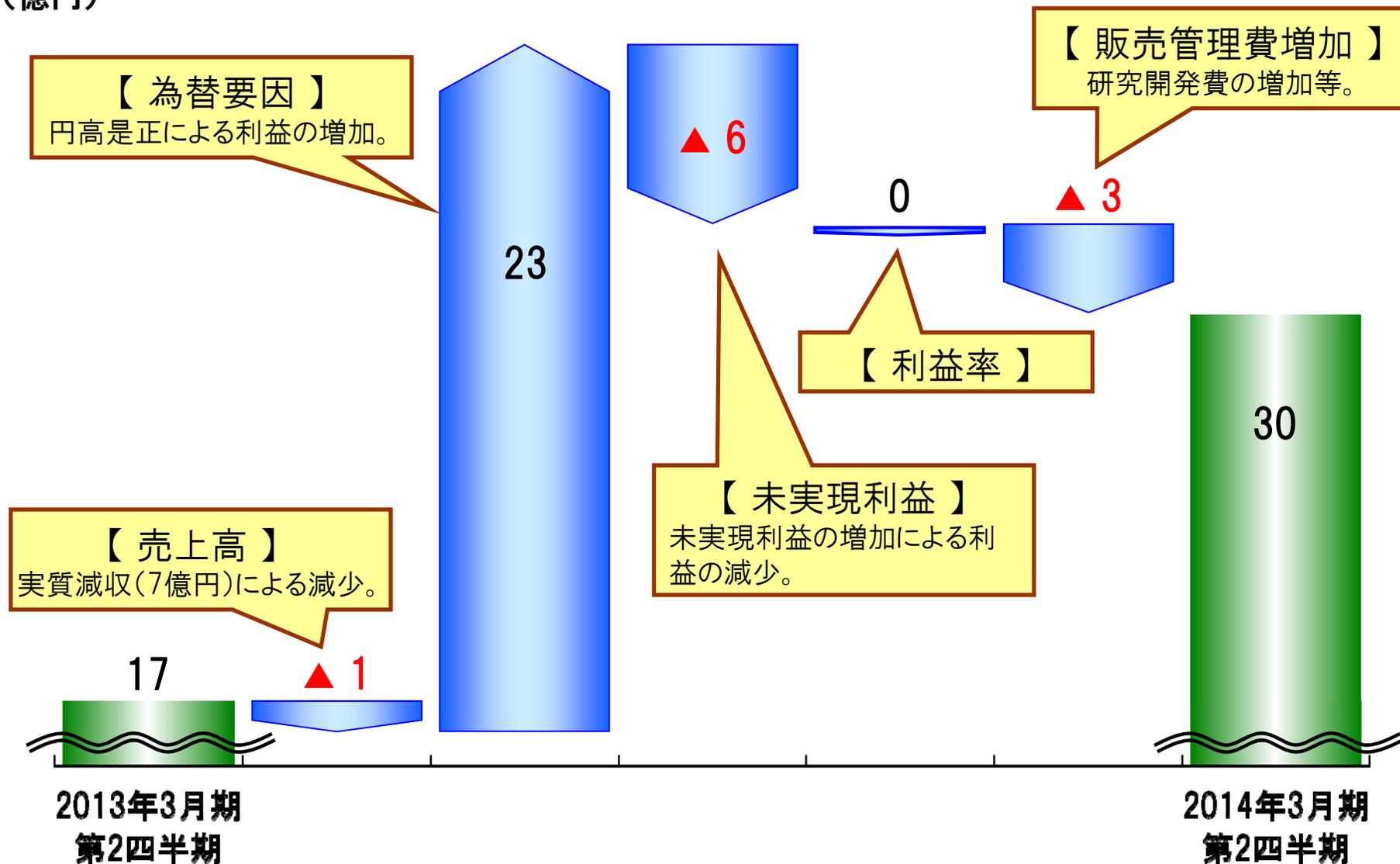
連結売上高の増減

(億円)



連結営業利益の増減

(億円)



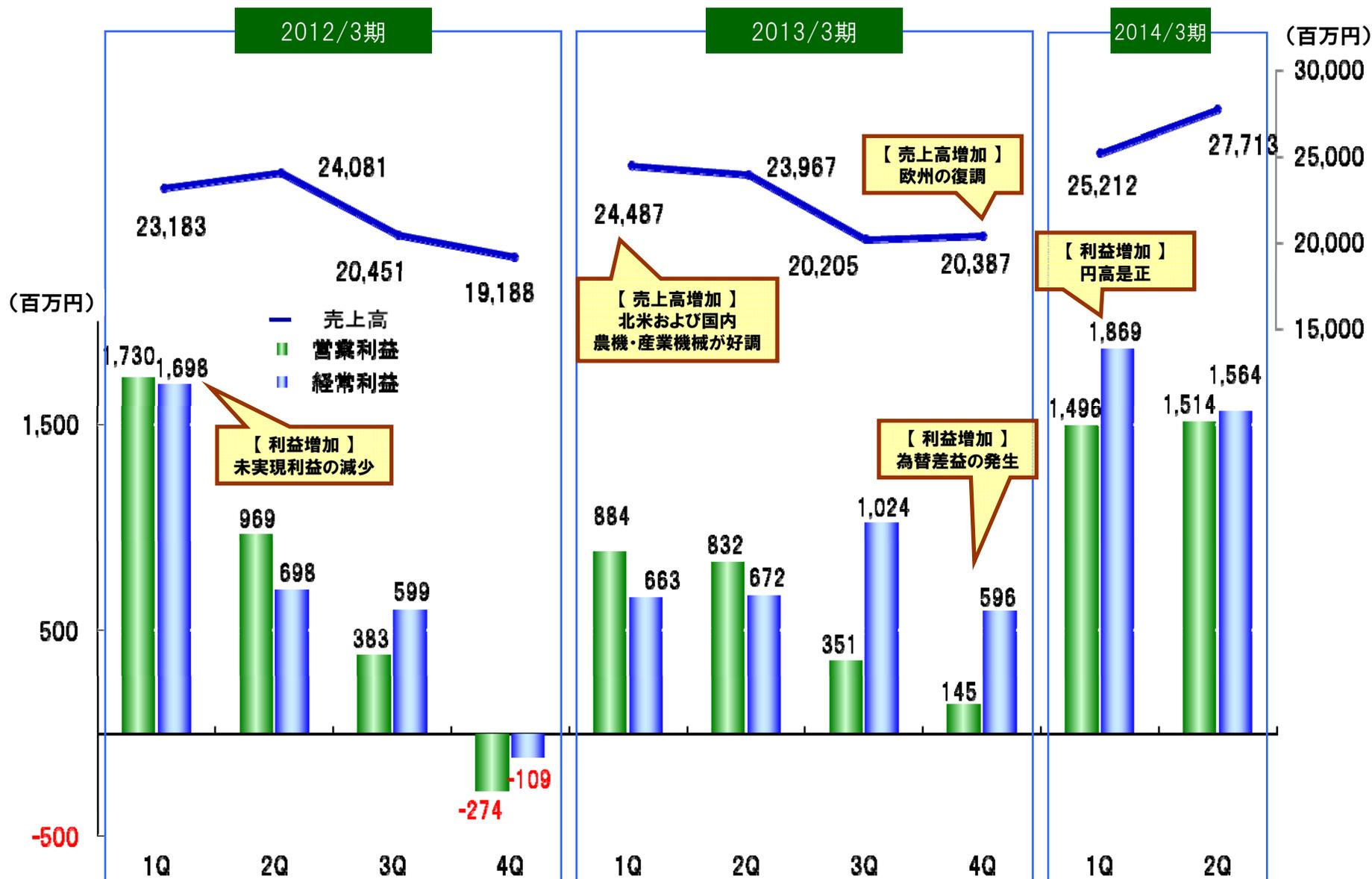
セグメント別経営成績



(百万円)

		13/3期 2Q	14/3期 2Q	前年同期比	
売上高		48,454	52,925	4,471	+ 9.2 %
	小型屋外作業機械	25,021	28,725	3,703	+ 14.8 %
	農業用管理機械	9,681	10,223	542	+ 5.6 %
	一般産業用機械	5,620	4,888	▲ 731	▲ 13.0 %
	その他	8,131	9,088	956	+ 11.8 %
営業利益		1,716	3,010	1,293	+ 75.4 %
	小型屋外作業機械 ・ 農業用管理機械	413	1,340	927	224.5 %
	一般産業用機械	245	2	▲ 242	▲ 98.8 %
	その他	3,018	3,792	774	+ 25.7 %
	全社共通費	▲ 1,960	▲ 2,125	-	-

四半期別 業績推移



2. 2014年3月期

業績見通し

中期経営計画進捗

2014年3月期（通期）の予想



（百万円）

	13/3期 実績	14/3期 予想	前期比	
			差額	増減率
売上高	89,045	100,000	10,955	+ 12.3 %
国内	38,623	39,000	377	+ 1.0 %
米州	39,869	49,100	9,231	+ 23.2 %
その他	10,552	11,900	1,348	+ 12.8 %
営業利益	2,212	4,500	2,288	+ 103.4 %
経常利益	2,955	4,600	1,645	+ 55.6 %
当期純利益	2,423	3,300	877	+ 36.2 %

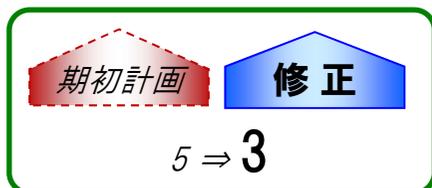
為替レート

1ドル	当社レート	83 円	96 円	13 円	+ 15.6 %
	米国子会社 換算レート	80 円	96 円	16 円	+ 20.0 %
1ユーロ		109 円	127 円	18 円	+ 16.5 %

2013年8月9日 業績予想修正（営業利益、経常利益および当期純利益の修正）

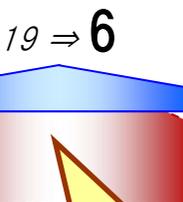
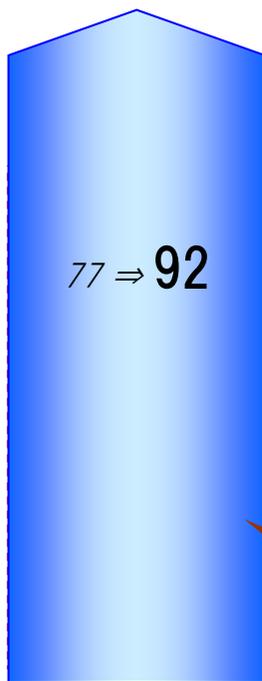
2014年3月期 連結売上高の増減（予想）

（億円）

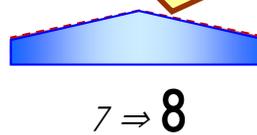


● 2013年8月9日 業績予想修正

【国内】
 産業機械は顕著に復調。産業機械以外は安定的に推移。なお、消費税の駆け込み需要は限定的。

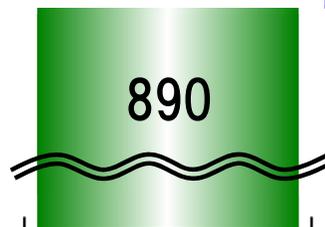
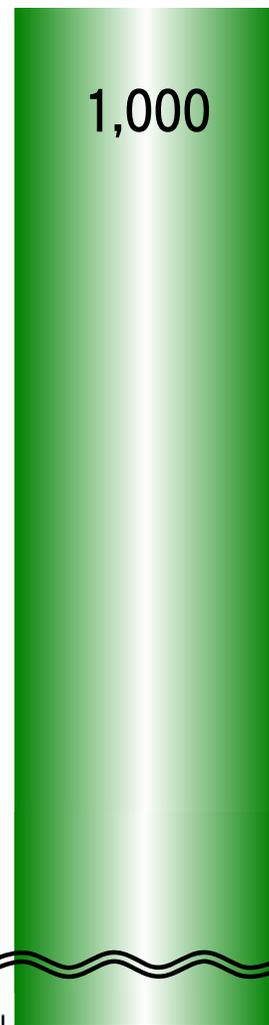


【欧州】
 下期は前年同月比増販を見込むが通期では実質販売減少。為替の影響で増収を見込む。

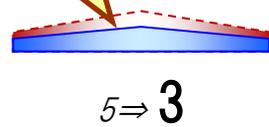


【米州】
 天候の回復などで前期以上販売を見込む。加えて円安により大幅増収

【その他海外】



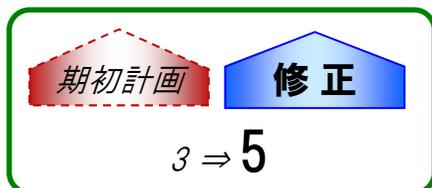
2013年3月期



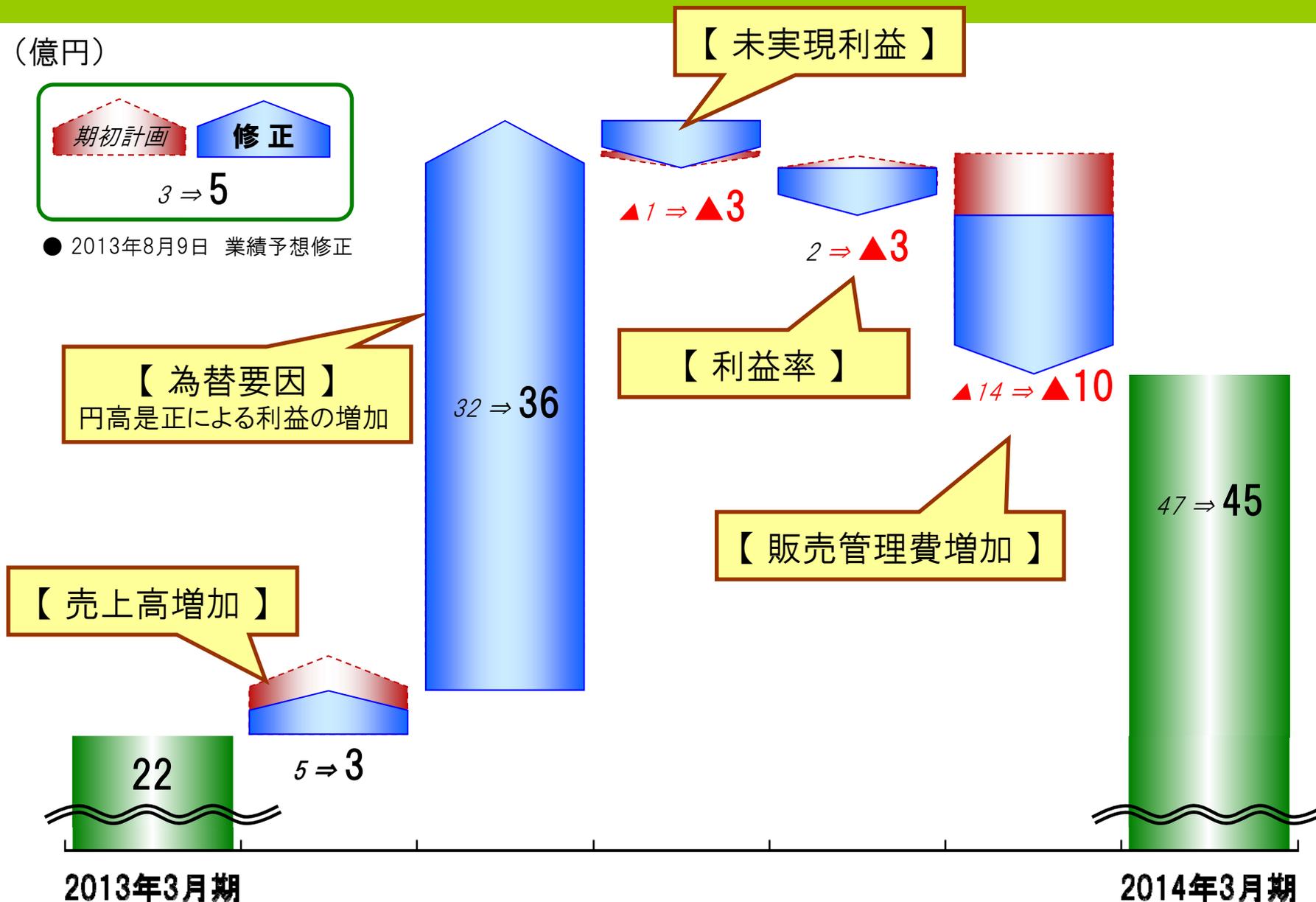
2014年3月期

2014年3月期 連結営業利益の増減（予想）

(億円)



● 2013年8月9日 業績予想修正



中期経営計画2014策定時点の『経営環境・事業環境の変化』と『当社への影響』

経営環境・事業環境の変化	当社への影響
<ul style="list-style-type: none"> ● 超円高の定着 ⇒ 1ドル=80円/1ユーロ=100円 	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸出の収益力低下 ● 欧州競合他社製品との価格競争力が低下
<ul style="list-style-type: none"> ● 世界経済の減速 ⇒ 欧州景気低迷の長期化、新興国の成長率鈍化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 欧州の需要減退（縮小） ● 新興国市場における競争激化
<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災の復興需要動向 ⇒ 増加傾向だが本格的には至らない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内の需要予測が困難



『事業環境・経営環境の変化』に対応

海外生産移管



日本
主要製品

生産移管

海外生産工場

米国 (Echo inc.) ・ 中国 (愛可機械)

海外生産台数比率 (完成品ベース) : 2011年3月期 65% → 2014年3月期 76% (見込)

追加施策

日本



エンジン
ブロック

生産移管

米国 (Echo inc.) ・ 中国 (愛可機械)

44万個 (見込)

海外調達化

- ・ 海外生産移管機種を中心に金型やエンジン主要部品の海外調達化拡大
- ・ 外貨決済化促進

2014年3月期 : 2011年3月期比調達額 約3倍 を達成 (見込)

空洞化対策

海外生産移管

内製化促進

- 板金塗装（工場新設）
- 主要部品内作化（ライン新設）など

原価削減
雇用維持
塗装等品質向上

エンジンプラットフォーム統合

予定通り推進中

中長期における「グローバル」視点でのエンジンラインナップの企画・立案

65

プラットフォーム数
(2012年現在)

2019年目標めどに
統合

31

(現在の半数程度)

プラットフォーム数

新製品開発の強化 / 原価・価格低下 / 市場競争力強化
(開発資源の有効活用)

主力市場 （日本・北米・西欧）

基本コンセプト

『製品の品質・性能』および
『市場競争力』の向上によりシェア拡大

日本・北米

- ◆ 第3次排出ガス規制への対応訴求
- ◆ アフターサービス網の強化
- ◆ 積極的なプロモーション活動の実施

西 欧

- ◆ サービス力向上の代理店強化

成長市場 （ロシア・東欧・アジア・中南米）

基本コンセプト

販売・サービスネットワークの
構築・充実による売上高拡大

既存市場

- ◆ 代理店を巻き込んだ販売促進活動強化
- ◆ ウェブ化の推進

新規市場

- ◆ 着実に有望市場を開拓

農業用管理機械

基本コンセプト

製品別NO.1シェア奪取・確立

国内

- ◆ 高付加価値製品の開発

海外

- ◆ 穀物価格高騰を背景とした需要拡大に対応して売上高拡大を図る。
- ◆ 農業用排水管理設機械製造・販売事業の買収による売上高拡大。

一般産業用機械

基本コンセプト

安定した事業基盤・収益体質の再構築

国内

- ◆ 新製品効果による受注の増加
- ◆ 復興需要の取り込み

海外

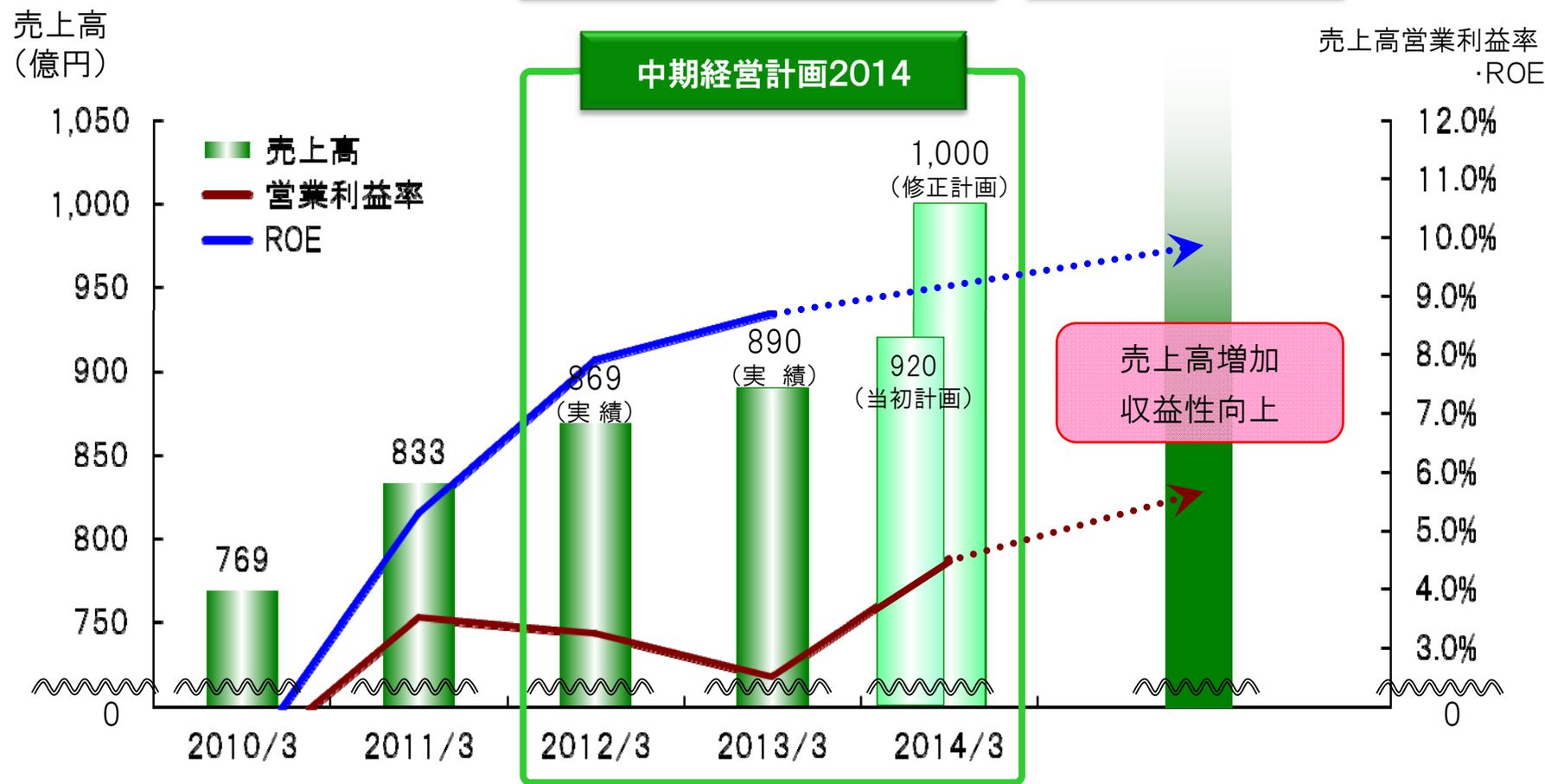
- ◆ 継続的な新市場開拓の強化
- ◆ 新規生産拠点の検討

『中期経営計画2014』（修正後）



統合シナジーの最大化
次なる成長フェーズに向けた
体制整備

次なる
成長フェーズ
継続的成長



中期経営計画2014を確実に達成し、さらなる成長を目指してまいります

株主還元の考え方

株主還元は配当を中心にする

- 安定配当の継続
- 配当性向25%を目安

配当実績と予想

2013年3月期

60円

2014年3月期

75円（予定）

配当金・配当性向の推移



(注) 2010/3期は当期純損失が計上されており配当性向は算出しておりません

2013年8月9日：期末配当予想修正(70円→75円)

3. 次期中期経営計画 策定の考え方

中期経営計画2014

次期中期経営計画

基本3事業の着実な成長

経営基盤強化

統合シナジー最大化

グローバル
競争力の向上
収益体質の強化

2014年5月 発表予定

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

(注) 本資料中の記載金額等は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式IR課 神田・田月

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX: 0428-32-6143
e-mail: ir@yamabiko-corp.co.jp